



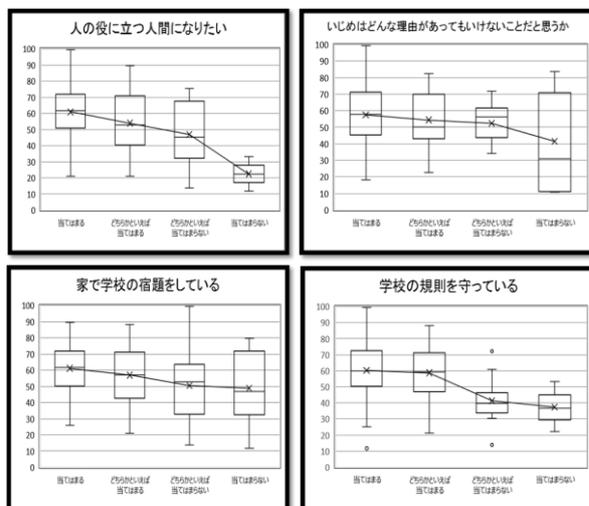
3S運動を始めます

中央中学校区では、小中連携の取り組みとして、『3S運動』を始めます。3つの『S』とは、「姿勢(Sisei)」「静寂(Seijyaku)」「整理整頓(Seiriseiton)」の頭文字です。姿勢を正すと集中力が増し、静かな環境は心を落ち着かせ、身の回りをきれいにすると勉強の効率が上がります。これらの指導については、これまでも各校で取り組んでいます。難波小学校、竹谷小学校、難波の梅小学校と本校の3小1中が、協同で取り組むことに意義があると考えています。

また、右のようなポスターを作成し、3小1中の廊下等に掲示し、児童生徒への啓発を行っていきます。ご家庭でも整理整頓等へのご協力をよろしくお願ひします。



(2) その他で(1)と同様の傾向が見られるもの



上段2問の「人の役に立ちたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」は、人としての生き方や考え方を問うていますが、肯定的な回答をした生徒の正答率が高くなる傾向にあります。

下段2問の「家で宿題をしている」「学校の規則を守っている」は、小学校の時から教えられていることであり、当たり前のことができているのかを問うています。これらも肯定的な回答をした生徒の正答率が高くなる傾向にあります。

(3) まとめ

朝食を食べているから正答率が高くなるのか、正答率の高い生徒が朝食を食べる傾向にあるのか、判断の難しいところです。しかし、私はこれまでの経験から、朝食に限らず、朝食を食べて登校するような、生活習慣がしっかりと身につけている生徒は勉強もがんばる傾向にある、ということは言えると考えています。他の結果からも同様です。人としての生き方や考え方を持っているような、信念のある生徒は勉強をがんばる傾向にある、また、当たり前のことができるような、自律した生徒は勉強をがんばる傾向にある、と考えています。生活習慣を身に付け、信念を持ち、自律した人になろうと考え行動することが大切であり、これらが学習面にも影響を与えているのだと思います。

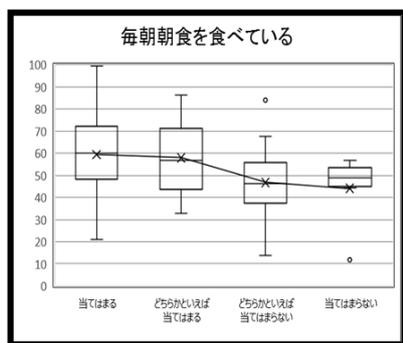
正答率(テストの点数)に影響を与えるものは・・・

全国学力・学習状況調査結果の概略については、前回の学校だより103号でお知らせしました。現3年生は、学力では全国よりもやや低い傾向にあります。多くの生徒が、夢や目標を持っていたり、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考えていたりしていることがわかりました。

さて、今回の学校だよりでは、本校の中3生徒のアンケート結果と正答率の関係を調べましたのでお知らせします。

(1) 「毎朝、朝食を食べている」と正答率

右の図は「箱ひげ図」と言います。図の見方は、例えばこの図で、「当てはまる」を選択した生徒の50%が49点から72



点の範囲にいる、「どちらかといえば当てはまる」を選択した50%が43点から71点の範囲にいる、と読み取ります。また、長方形の中にある「×」は平均点を表しています。例えば「当てはまる」という項目を選択した生徒たちの平均は約60点、「どちらかといえば当てはまる」を選択した生徒たちの平均は約59点であることが分かります。

この図では、長方形や×印が右にいくほど下がっていますので、朝食を食べている生徒は、そうでない生徒よりも正答率が高くなる傾向にあるということになります。

連絡メールへの加入のお願い

最近、台風や大雨、地震等による自然災害が日本各地で頻繁に起こっており、この尼崎市も例外ではありません。学校は、子どもたちの安全を第一に考え、気象警報を確認し、授業の実施や中止、臨時休校の判断をします。その際、緊急に保護者の方に連絡をしなければならぬ場合は、連絡メールを使用しています。未加入の保護者の方は、この機会にご検討いただき、できる限り加入していただくようお願いいたします。なお、現在、約8割のご家庭がメール受信できる状況にあります。